

Phragmidium 屬ノ一新種ニ就テ(豫報)

教授 農學士 河 越 重 紀

本校第二回林學得業士豊平金助氏、本校在學中、明治四十四年五月中旬、本校附近ナル、鹿兒島郡中郡宇村大字中小字唐湊ナル岩崎氏所有廢園内ニテ *Rubus Sieboldii*, Br. (ぼろろくさちご)ノ葉ニ一種ノ菌ノ寄生セルモノヲ發見シ、之ヲ一葉採集シ來リ余ニ示シタリ、乃之ヲ鏡檢スルニ、是レ *Phragmidium* 屬ノ一種ニシテ其形態頗ル特異ナルモノナリ、之ヲ諸書ニ就キテ探ルニ此種ニ相當スルモノナシ、乃圖ト說トヲ作り標本ヲ添ヘテ、余ガ恩師理學博士白井光太郎氏ニ質ス、博士其新種ナルベキヲ報ゼラル、其後ニ至リ同博士ノ贊同ヲ得テ *Phragmidium Rubi-Sieboldii*, KAWAGOE. ト命名スルコトトセリ、即本校學術報告發刊ニ當リ取り敢ヘズ之ヲ發表セントス、尙此菌ノ生活史等ニ就キテハ他日研究ノ上報ズル所アルベシ。

產地

上記ノ場所以外ニ於テハ未ダ發見セズ、余ハ其後豊平氏ガ初メテ此菌ヲ發見セシ場所ニ屢至リ、其株ヨリ出デシ葉ニハ年々此菌ノ發生スルヲ見タリ。

發生時期

五月初旬ヨリ六月下旬ニ亘リ、葉ノ裏面ニ冬孢子堆ヲ生ズ、他ノ孢子形ニ至リテハ、未ダ之ヲ發見セズ。

外 觀

葉ノ表面ニハ褐色ニシテ輪廓判然タラザル斑點ヲ生ズ。裏面ヲ見ルトキハ、表面ノ斑點ニ對應スル部分ノ葉脈ヨリ、橙黃色ヲ呈スル絹糸層狀ノモノヲ抽出ス、是レ此菌ノ冬孢子堆ニシテ、世ニ多ク見ル所ノ銹菌ノ孢子堆ニ比シテ頗ル特異ナル外觀ヲ呈ス。(圖版A.)

冬孢子堆

孢子堆ノ部分ヲ薄片トシ鏡檢スルトキハ、營養菌糸ハ皮膚ト韌皮トニ亘リテ蔓延シ、孢子堆ノ底部ハ皮層中ニ起リ、無數ノ孢子柄ハ束狀ニ密集シ、皮層及表皮細胞層ヲ貫キテ外界ニ長ク抽出ス、長キ孢子柄ヲ有スル冬孢子ノ束ハ其全長約二二〇〇 μ 以上ニ達ス。(圖版B.)

冬孢子

形ハ長披針狀ニシテ、頗ル長キ柄條ヲ有ス、孢子ハ通常五個ノ細胞ヨリナリ、長サ一三六 μ 乃至二二一 μ ニ至リ、幅ハ最廣キ部分ニテ一五、六 μ ナリ、最末端ニ位スル細胞ハ其長サ孢子全長ノ半ニ達シ、先端ニ至ルニ從ヒ、漸次狹小シ、銳ク尖ル、各細胞間ノ隔壁ノ部分ニ於テ、少シク縊レアリ、膜ハ厚サ二 μ ニシテ、何レノ部分モ殆同ジ厚サナリ、膜ハ平滑且ツ無色ナリ、内容ハ橙黃色ニシテ油滴及顆粒アリ、柄條ハ甚長ク平均二〇〇〇 μ ニ達ス、其膜ハ孢子ノ膜ニ比シテ稍厚ク、約三 μ アリ、膜ハ平滑ニシテ無色ナリ、其内容モ亦無色ナリ。(圖版C.)

發 芽

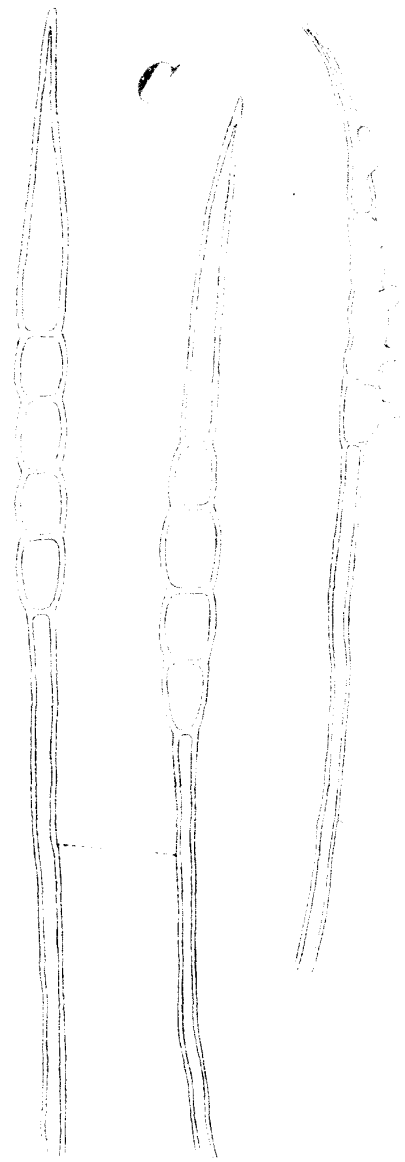
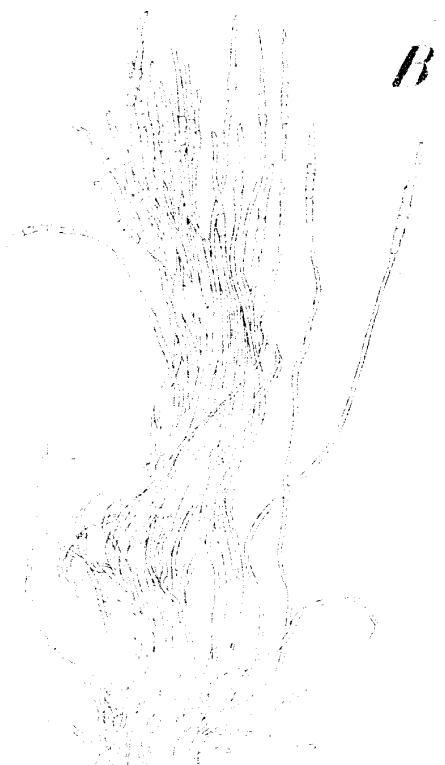
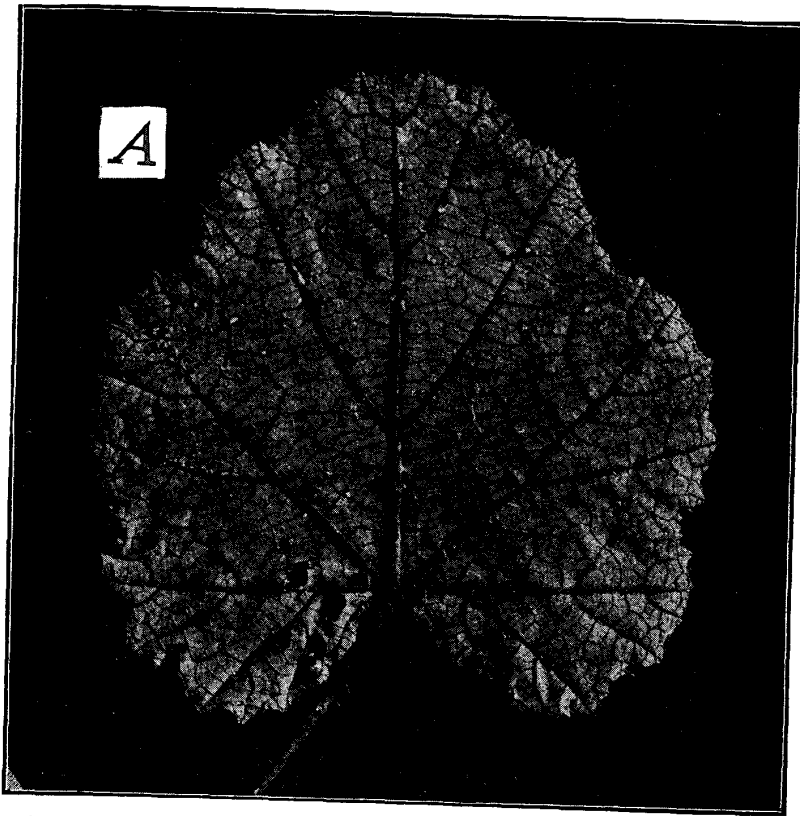
新シキ冬孢子ヲ取り、蒸餾水中ニ播キシニ、翌日直ニ發芽シ、各細胞ノ中央ヨリ前菌糸ヲ抽出セリ、前菌糸ハ四細胞ヨリナルコト、一般ノ銹菌ニ於ケル如シ。(圖版D. a, b, c, d.) 發芽ノ順次ヲ示ス。

學 名

此菌ハ即銹菌類 (Uredinales) Puccinia 科 (Pucciniaceae) Phragmidium 屬ニシテ、未ダ命名セラレザル
新種ナルヲ以テ、其寄主 *Rubus Sieboldii*, Br. ニ因テ *Phragmidium Rubi-Sieboldii*, KAWAGOE, sp. nov. ト名ク。
右研究ニ附キ、白井博士ノ懇篤ナル教示ヲ蒙レル所多シ、記シテ以テ感謝ノ誠意ヲ表ス。

圖版説明

- A. *Phragmidium Rubi-Sieboldii*, KAWAGOE. ノ發生セル *Rubus Sieboldi*, Br. (ほうろくいちご)ノ葉
ノ裏面ヲ表ハシ、菌ノ冬孢子堆ノ多數發生セルヲ示ス。
- B. 寄主ノ葉脈ノ横斷面ヲ表ハシ、菌ノ冬孢子堆ノ縦斷面ヲ示ス。
- C. 冬孢子 (孢子柄ハ途中ヨリ切斷セラル)。
- D. 冬孢子ノ發芽、(a, b, c, d. ハ發芽ノ順次ヲ示ス)。



T. Naito phot. S. Kawagoe del.